ＪＡＲＬ
香川クラブ報

Ｎｏ．４２２　平成３０年１２月１日

クラブミーティング（１１月１６日）

ＪＡ５ＹＤＥ

忘年会のご案内

寒い冬が目前に近づいてきました。皆様方には何かとお忙しいこととは思いますが、今年も恒例のクラブ忘年会を下記の通り開催致しますので、万障お繰り合わせの上、多数ご参加下さいます様ご案内申し上げます。

今年の出来事や久しぶりの思い出話等、一杯かたむけながら楽しいひとときを過ごしませんか。　なお、恐縮ですが準備の都合上 12 月 19 日（水）迄に出欠のご返事を宜しくお願い申し上げます。

記

日　時　12 月 22 日（土）午後 6 時～
場　所　魚と田舎料理　おかげや
　　高松市瓦町１丁目１２－１　タムラビル
　　TEL　087-862-6004
会　費　男性　5,000 円
　　女性　4,000 円
連 絡 先　ＪＥ５ＰＢＯ

※場所は昨年と同じですが、開始時間が 18 時よりと１時間早くなっております。

ＪＡＲＬ香川クラブ結成７０周年記念式典・祝賀会

JA5TFJ

平成３０年１０月２７日(土)　前日の雨も上り記念日にふさわしく朝から快晴となり、市内リーガホテルゼスト高松に於いて記念式典並びに祝賀会が開催されました。当日は１８時からの開始に先立ち数名の者が早く出てクラブ旗や記念の横幕等を設営しました。定刻となり森田四国地方本部長のご臨席を仰ぎ、クラブ員と家族会員総勢２０名に記念写真だけでもと佐藤電化センター社長が来られ、最初に全員で記念撮影を終えて全員着席したところで、ＪＡ５ＴＯＰ平賀さんの司会進行による開会の辞に始まり、三好会長から全国的にも数少ない歴史と伝統あるクラブの結成から現在までの７０年に及ぶあゆみをエピソードなどを交えた挨拶が有りました。次にご来賓の連盟副会長である森田四国地方本部長からお祝いのお言葉を戴きました。会員の皆様には着席前にそれぞれ７０年のあゆみを綴った記念誌を配布しましたが、その編集に長い過去の歴史や資料を提供され、その纏めにご苦労されたＪＡ５ＭＧ稲毛元連盟会長から結成から今日までの話しが続きました。隣の窓から料理長が挨拶はまだかと覗いており、司会の平賀さんもホテルの担当者に謝りながら、ここでＪＡ５ＡＨＭ天野さんの乾杯の音頭となりグラスを持って全員が立ち「乾杯！」でいよいよ祝賀の宴が始まりました。宴の途中で司会者から今回ご来臨の無かった高尾連盟会長、森國香川県支部長からの祝電の披露があり、ホテル秋のコースで次々と料理が運ばれるとともに、ビールほか飲み放題の司会者の言葉にみなさん笑顔で歓談と珍味に舌鼓を打ちながらも、アッと言う間に予定時間となり、司会者に促され山口副会長から右腕３回の掛け声をと指示され一同「エイ、ヤー」とクラブの益々の発展を祈念して中締めとなり、まだ残りたい宴席を惜しみつつ散会となりました。ご参加戴いた皆さま本当に有難うございました。なお、会長のお計らいにより常に皆様から会費等のご協力を戴いており少しでも皆様に還元する意味合いで会費の一部補助を戴いた事をご報告しておきます。

今年もマラソンコンテストが近づき寒くなります。皆様方お身体ご自愛の上、今後共クラブ運営にご協力下さいます様よろしくお願い申し上げます。

2018 香川県支部 ARDF 競技大会スタート業務

JI5XTP

“スタート 5 秒前、4，3，2，1，ぷー”スタートチャイマーが鳴り終わるとゼッケンを付けた 1 組の 6 選手が一斉に走り出した。2018 年 11 月 11 日、10 時 30 分「2018 香川県支部 ARDF 競技大会」がここ高松市仏生山公園で開始した。

いつもならＴＸ担当の審判員業務が多かったが、今回はスタート担当業務を命ぜられた。この業務は初めてなので、今一度ルールを確認する為、ＡＲＤＦハンドブックを紐解き再読した。近年のＡＲＤＦ競技にはクラシック競技、スプリント競技、ＦＯＸ－Ｏ競技があり、今回はクラシック競技で行われた。

スタート業務はやることが多く、競技が始まる前の作業としてスタート走行コースの設営、スタートコース内に地図渡しライン、スタートラインなどを 5m間隔でロープを使い 3 つの区画を作り、スタートラインの上部にスタート表示の幕張る。（反省点：6 選手を 5m の区画内に入れた場合、呼出しを受けた選手と地図見をしている選手の間隔が狭く地図をのぞき見することが出来る。次回は 8mにしよう。）

今回の競技者は 41 名といつになく参加者が多かったので広い場所に選手の待機場所、選手の受信機の保管場所を確保し、受信機保管場所にはブルーシートを敷きその上に受信機を置かせる。また選手の待機場所には選手のスタート順リスト、ＴＸ・ビーコン周波数、競技の制限時間、競技地図記号の凡例、三角柱の見本等を掲示しなければならない。

近年はＴＸを探査した時の証明として電子記録機器ＳＩカードを使用するのでＳＩカードの履歴をクリアーしたり SI カードの動作をチエックするＳＩステーションを机の上に設置する。これで一通りの設置が完了した。その後は大会タイムスケジュールに沿って 10 時 15 分に選手の呼出しから始まり、ＳＩのクリア・チエック、競技地図渡しと 5 分間隔で進めてゆく。11 時 00 分に最終組がスタートすると各準備品を撤収してスタート業務は完了するのだが、スタート業務完了後はゴール場所に行きゴール担当業務の補佐をする。これをもってスタート業務が完了する。これらの業務を 7 名が担当をした。

今大会にＪＡＲＬ香川クラブから JA5CAU、JA5IJL、JA5TFJ、JA5UVT、JH5LYW、JH5PRJ、JR5IKV、JE5PBO、JJ5CAE と当局の 10 名が審判員として業務に携わった。各局お疲れ様でした。

大会後記

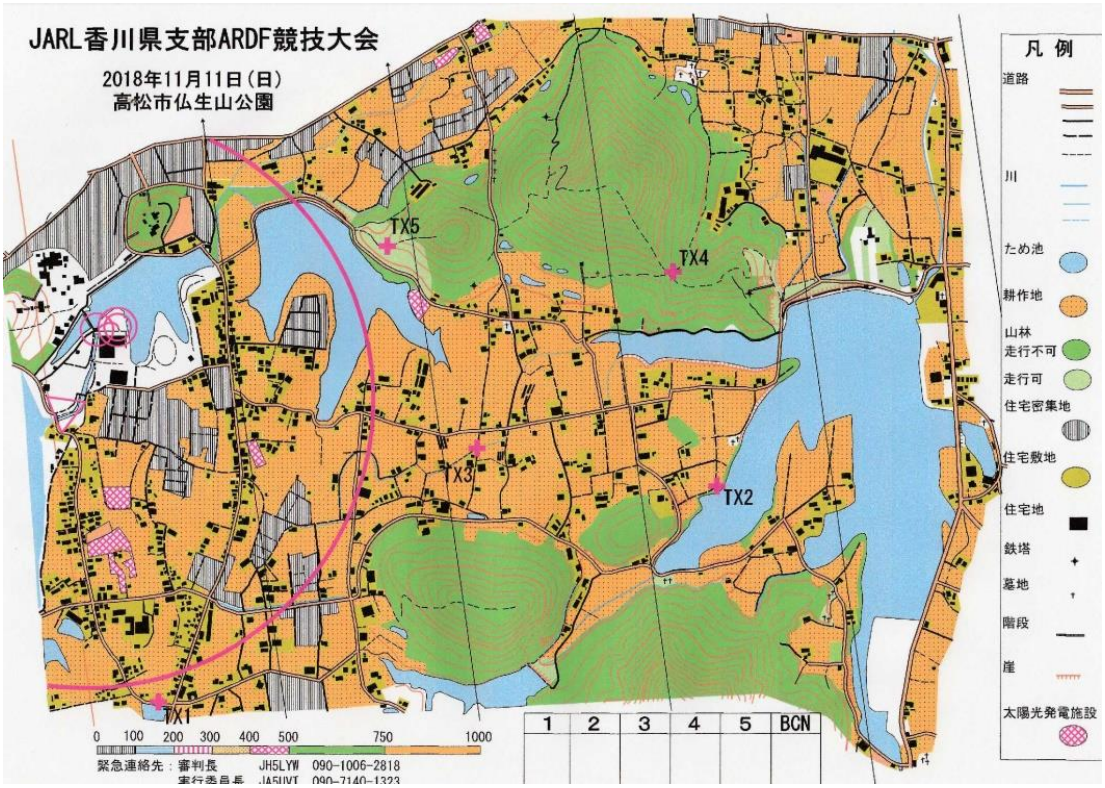
開会式の時、審判長 JH5LYW 会長が今回は高低差が少なくフラットの場所が多い競技エリアなので 1 時間を切る選手が続出するかもしれないと話されていた。だが蓋を開ければ TX 設定者の思惑が外れゴールする選手は息も絶え絶え、性も根も尽きた表情で倒れ込む選手も多かった。審判長の設定では S-1-3-2-4-5-G で 4,567m とあまり距離が長いとは思わ無いが、2TX の反射に悩まされたり、審判長の設定ルート通りに 1TX から廻ればあまり 4TX に惑わされないようだが、5TX から廻ったばかりに「日山」の中腹に設置された 4TX に相当苦戦を強いられたようだ。ある選手は 5TX を探査して 1TX に向かったつもりが反対の北方面に進み、競技エリアを離脱し仏生山温泉まで移動して 2 万歩も歩いたそうだ。

今回は TX に無指向性のヘイロアンテナを使用していたのだが設置向きによって一部の TX の信号が弱かった影響もあったようだ。アンテナが織りなす電波の不思議、電波の難しさを改めて知らされた。（実験者：無指向性だが向きによってはハート型のカージオイド特性が出るらしい。）

今回の競技で全 TX を探査した選手は 2 名だけ、それだけ難しく素晴らしい設置だったのだろう。喜ばしいのは全 TX を探査した一人が今回初めて ARDF を経験した選手だ。今後の競技にも是非参加をして欲しい逸材だ。

残念だが一人の選手が競技中に足を滑らし捻挫してリタイヤをした。が、看護士 JH5PRJ さんの適切な処置で大事には至ら無かった。

参加選手 41 名、時超 2 名、棄権 1 名で 2018 香川県支部 ARDF 競技大会は無事終了した。



平成 30 年度高松市震災対策総合訓練

JA5TOP

11 月 11 日（日）は香川県支部 ARDF の競技大会と高松市震災対策総合訓練が重なり、多くの香川クラブ会員は ARDF の方にスタッフとしてお手伝いに出られて、訓練の方は天野さんご夫婦と JG5JXW 坂井さんに私を入れて最小限の 4 人での参加でした。訓練に先立ち市役所危機管理課の会議が 2 回、さらに今回私の地元一宮コミュニティの毎年行われる防災訓練を合わせて行うために 2 回の会議に呼ばれていました。そのため多くの行事が予定されており「消化できるのかなぁ」と思いながら地域の状況を仮定して香川クラブのシナリオを作りました。その後地域の簡易無線訓練の操作指導やそのシナリオを 6 組も作ることになりました。

9 時訓練開始、その場で「シェイクアウト」（体を低く、頭を守り、動かない）の姿勢を取るようスピーカーから流れる。揺れが止まったナレーションが流れて、いきなり簡易無線による情報伝達の訓練が始まり、話すスピードや声の大きさなどバラバラで上手でない無線通信が流れました。本当は市の放送席ナレーターから紹介されて始まる予定だったのですが初めてのことでうまくいかなかったようです。訓練番号 2,3 災害広報、避難広報が行われ、別途、避難者カードによる受付や炊き出し訓練等も並行して始まりました。

いよいよ訓練番号 4、香川クラブの被害避難状況報告訓練です。ナレーターから過去の災害でも非常通信が大活躍したことや高松市と非常通信協定を締結していることなどが紹介されて香川クラブの第 1 声「クンレン、クンレン、クンレン」が場内にマイクを通じて流されました。本部では天野前会長がマイクを握り、奥さん JA5CBF さんの澄んだ声が場内に響きわたり、2 ヶ所からの通信が無事行われ、最後に「クンレン、クンレン、クンレン」の言葉は実際の非常通信運用では「非常、非常、非常」と置き換えられる説明を加えて通信訓練を終わりました。

その後は 4 人で相談して写真の撮り直し（逆光）も兼ねて 11 時まで自由行動として個別訓練や体験、新しい機器等展示を見て回りました。

その間も訓練は続き、公の機関や参加団体、一宮の自主防災、女性防火クラブ、クラブ活動のグループや諸団体、公的グループ、高松南高校生活デザイン科や看護科、一宮中、付属高松中、一宮小、一宮幼稚園に至るまで訓練に参加してトリアージや少年消防クラブの初期消火等々内容は盛りだくさんでした

11 時から写真を取り直して 11 時 20 分頃全体の修了式にも赤いジャンパーは目立っておりました。天野さんの奥さんによると解散前の炊き出しおにぎりが大変おいしかったそうです。

クラブミーティングの報告

JG5JXW

去る１１月１６日（金）市内三谷町の「高松市三谷コミュニティセンター」でクラブのミーティングが開催されました。三好会長が親類にご不幸があり急遽参加できなくなり、不安を感じながらの開催となりました。

会議は山口副会長が議長となり開会宣言で時間通りに始まり、先ず先日のクラブ結成７０周年の記念式典並びに祝賀会が成功裏に終わった事､香川県支部主催の ARDF 大会や、高松市震災対策総合訓練が無事終了のお話がありました。

11 月 11 日（日）の高松市震災対策総合訓練の報告が JA5TOP 平賀さんよりありました。参加者は JA5AHM／JA5CBF／JA5TOP／JG5JXW の４名で少人数ながら務めを果たしたとの説明がありました。

次に香川マラソンコンテストの担当について話し合い、以下の予定に決まりました。

2018　香川マラソンコンテスト　(JA5YDE)　　運用担当者表

日	12/1～12/3	12/4～12/5	12/6	12/7
運用者	JG5JXW	JA5TOP	JI5XTP	JA5TFJ
日	12/8	12/9～12/10	12/11～12/12	12/13～12/15
運用者	JI5SAO	JI5XTP	JA5CAU	JH5LYW

※　いずれも交代は 08:00 時とする。なお、交信ログを JH5LYW まで。

続いて忘年会開催のことについて､日程等については３月の総会の時に決定しており、会場も JE5PBO 岡田さんより事前に決めていただいていましたので､ミーティングでは皆さんの承認のみとなりました。開催日時及び場所については会報誌上にて案内しているとおりです。(前頁案内参照)

［参加者］　JA5CAU／JA5TFJ／JA5TOP／JA5UVT／JE5PBO／JG5JXW
JH5WMN／JI5XTP　　（８名）

記念誌訂正のお願い

すでにお手元に届いていると思いますが「JARL 香川クラブ７０年のあゆみ」の中に誤記がありましたので訂正をお願いいたします。

９頁 15 行目　1985.7 第２７回自然公園大会記念局『ＪＲ５ＲＬ』開設運用　の所正しいコールサインは『ＪＡ５ＲＬ』です。また､19 行目　城山レピータ『ＪＡ５ＷＬ』とあるのは正しくは『ＪＲ５ＷＬ』です。

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。
原稿サイズ：B5サイズ　出来ればWordで作成しﾒｰﾙ、電子ﾒｰﾙが無い場合はFAXか郵送。
送　付　先：E-mail
　　Fax
郵　送　先：〒761-

★★★　新入会員募集中　★★★

ＪＡＲＬ香川クラブでは新会員を募集しています。
今年はクラブ結成７０年(1948 年 10 月結成)になります。
そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

＊お知らせ

ＪＡＲＬ香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

ＪＡＲＬ香川クラブ報

発行責任者	ＪＨ５ＬＹＷ	三好　伸幸
編　集　者	ＪＡ５ＴＦＪ	横田　寿夫
	ＪＡ５ＴＯＰ	平賀　正明
	ＪＩ５ＶＵＺ	市原　義博
	ＪＧ５ＪＸＷ	坂井　進史